

指定管理施設支援金の返還問題と補助金ルール見直しに関する一般質問

1 背景・目的

新型コロナの影響で、指定管理施設が利用制限や休館となり、収入が減少。市は事業継続を支援するため、「指定管理施設事業継続支援金」を支給しました。しかし、その後に一部の事業者に返還を求めたことが問題となり、議会で質疑が行われました。



2 支援金の流れと返還までの経緯



3 一般質問の主なポイント

① 令和2年度支援金の積算根拠と返還を求めた理由

- どのように積算したのか
- なぜ後から返還を求めたのか

② 令和3年度支援金の算定方法と返還の可能性

- どのような基準で算定したのか
- 今後、返還はあるのか

③ 補助金ルールの見直し

- 返還の根拠や手続きが要綱に明記されていない
- 文書による説明・記録の徹底
- 規則改正でルールを明確にすべき

4 質疑応答の内容 (主なやり取り)

① 令和2年度支援金の積算根拠と返還理由



葛西議員
(質問)

令和2年度の支援金は、どのように積算したのか。また、なぜ後から返還を求めたのか。



市側
(答弁)

コロナ禍で経営悪化が見込まれる指定管理者に対し、職員数を基に積算して支給した。その後の決算精査で、おのえ企画は自主事業収入や負担金収入を再確認し、234万6,000円の返還を受けた。また、スポーツ協会は、雇用調整助成金の受給や基金積立などにより、実質的に支援金額を上回る黒字と判断し、800万円の返還を求めた。



葛西議員
(再質問)

返還の法的根拠が規則や要綱に明記されていないのではないか。また、返還の可能性や積算根拠が事業者に文書で十分説明されていなかったのではないか。



市側
(答弁)

当時は電話や口頭で説明していた。文書では十分ではなかったと認識している。

② 令和3年度支援金の算定方法と返還の可能性



葛西議員
(質問)

令和3年度の支援金は、どのように算定したのか。今後、返還を求める可能性はあるのか。



市側
(答弁)

休館や入場制限による実際の減収額を基準に算定したため、返還を求める予定はない。



葛西議員
(質問)

おのえ企画への休館・入場制限の要請は文書で行ったのか。



市側
(答弁)

文書ではなく電話で要請した。今後は、記録と通知を適切に残すようにする。

③ 補助金ルールの見直し



葛西議員
(質問)

補助金確定後の返還や取消し理由、不服申立て、書類保存などについて、現行の平川市補助金等交付規則には明記されていないのではないか。他自治体の例も参考に、規則を改正すべきではないか。



市側
(答弁)

現行規則に不足している項目があることは認識している。他自治体の例も参考に、返還、取消し理由、不服申立て、書類保存などの条項を追加し、制度を分かりやすく見直す方針で検討する。

議員の主張 (まとめ)

- 行政は文書主義を徹底すべき
- 取消の根拠や手続きを明確にすべき
- 民間事業者への説明責任を果たすべき
- 補助金ルールを見直し、再発防止を図るべき



5 2つの事業者の返還理由 (イメージ)

(有)おのえ企画



- 職員数を基に積算して支給
- その後の決算精査で、自主事業収入や負担金収入などを再確認

234万6,000円

NPO法人 平川市スポーツ協会



- 職員数を基に積算して支給
- 雇用調整助成金の受給や基金積立などにより、実質的に支援金額を上回る黒字と判断

800万円を返還

800万円

6 補助金ルール見直しの方向性 (市の答弁)

規則改正 (検討中)

- ✓ 補助金確定後の返還手続きの明記
- ✓ 取消し理由の明記
- ✓ 不服申立ての手続きの明記
- ✓ 書類保存の期間の明記
- ✓ 他自治体の例も参考に、分かりやすい規則に見直し

7 今後の課題

- 行政手続の透明性の確保
- 文書による説明・記録の徹底
- 民間事業者への丁寧な対応
- 補助金ルールの改正による再発防止